

えりそめる並足と行政 づくり健康、予防介護

鷹栖町内で特養鷹栖さつき苑などを運営する社会福祉法人さつき会は、行政との良好なパートナーシップで介護予防、町民の健康づくりに取り組んでいる。拠点となるのはフィットネス、地域食堂を併設したサービスタウン高年齢者向け住宅「ぬくもりの家たかほ」。食を核に「身体機能、社会性、栄養の視点から在宅に暮らす高齢者が互いに支え合う心を自然に育む仕掛け」が機能し始めているという。行政と足並みをそろえながら、2割近い町内要介護認定率の半減も見据える。

さつき会は人口約7200人の同町で1988年開設の特養鷹栖さつき苑をはじめ各種サービスタウンを展開、これまで町内の在宅中高齢者の生活を支える基盤整備を進めてきた。介護予防・日常生活支援総合事業から看取りまでシームレスなケア提供が求められる中、「足りなかったのは軽度者向けの安心住まい・元気づくり・生涯活躍を一体的に支援する地域安心拠点」と波瀾幸敏常務理事。そうした課題をそのまま理念に置き換えて生まれたのがサ高住・

「ほたか家のぬくもり」サ高住併設食堂地域、フィットネス



総合事業拠点だ。隣接くもりの家たかほは、旭川市に近い同町鷹栖さつき苑から移設する北野東で今年5月にオープンしたサ高住「ぬか、フィットネス倶楽部」

身体機能・社会性・栄養の視点から 支え合い醸成地域拠点に

「部コレカラ」員に介護福祉士、社会福祉士、ケアマネとし「地域交流ス」て20年余りの経験を持つ佐藤晴美管理者を配るPT指導の運動プログラムの取り組めるフィットネス。登録は町内高齢者人口の10%を超えた。

「部コレカラ」員に介護福祉士、社会福祉士、ケアマネとし「地域交流ス」て20年余りの経験を持つ佐藤晴美管理者を配るPT指導の運動プログラムの取り組めるフィットネス。登録は町内高齢者人口の10%を超えた。

「部コレカラ」員に介護福祉士、社会福祉士、ケアマネとし「地域交流ス」て20年余りの経験を持つ佐藤晴美管理者を配るPT指導の運動プログラムの取り組めるフィットネス。登録は町内高齢者人口の10%を超えた。

「部コレカラ」員に介護福祉士、社会福祉士、ケアマネとし「地域交流ス」て20年余りの経験を持つ佐藤晴美管理者を配るPT指導の運動プログラムの取り組めるフィットネス。登録は町内高齢者人口の10%を超えた。

社会福祉 社会性・栄養の視点から

ペースあえる」を併設した複合施設。特養入所が要介護3以上に制限され、在宅に暮らす軽度者が旭川市などへ転居せざるを得ない状況を防ぐため整備した町内初のサ高住は個室18室。16人が入居し、自立は1人、要介護4の在宅酸素患者も受け入れている。常駐する生活相談



ワンデイシエ地域資源として定着方式で開かれしつとあるという。地域食堂。ランチ30食は毎回は社福の公益的事業のほぼ完食という一環で地域食堂を開き、ワンデイシエフ方を稼働半年で超式で1組が毎週木曜3組が月1回、地産地消にこだわった手づくり初めての利用消にこだわった手づくり者にトレーニングランチを1日30食限定で提供。地域住民、入居者家族やフィットネス利用者、お小遣いを手にした子どもの姿も見られ、毎回ほぼ完食となっている。

フィットネス開設に伴い雇用したPTは、必要性を